


Q-1 昨年の採用試験の受験者数や倍率を教えてください。

A-1 昨年9月に実施した採用試験の結果は下表のとおりです。

区分		募集人数	受験者数	一次試験 合格者数	一次試験 合格倍率	最終面接 受験者数	最終面接 合格者数	採用者数	合格倍率
一般事務職	上級	20名 程度	35	32	1.2	20	12	11	1.6
	中級		8	6		4	3	2	
	初級		9	7		5	3	-	
一般事務職 (障がい者)	上級	若干名	2	1	2.0	-	-	-	-
	中級		0	-		-	-	-	
	初級		0	-		-	-	-	
保育士		若干名	5	5	1.0	4	3	3	1.3
保健師		3名程度	2	2	1.0	2	2	2	1.0
学芸員		若干名	0	-	-	-	-	-	-
社会福祉士		若干名	3	3	1.0	2	0	-	-
精神保健福祉士			0	-	-	-	-	-	-
一般技術職 (建築・土木)	上級	若干名	0	-	-	-	-	-	-
	中級		0	-	-	-	-	-	-
	初級		0	-	-	-	-	-	-
建築基準適合判定資格者		若干名	0	-	-	-	-	-	-
一級建築士		若干名	0	-	-	-	-	-	-
二級建築士			0	-	-	-	-	-	-
建築施工管理技士			0	-	-	-	-	-	-
土木施工管理技士		若干名	0	-	-	-	-	-	-
計		33	64	56	1.1	37	23	18	1.6

Q-2 職員の男女別の人数はどうなっていますか。

A-2 令和8年6月1日現在の職員数は、712人です。このうち、女性職員は339人（47.6%）、男性職員は373人（52.4%）です。30歳未満の職員数は141人で、女性職員は75人（53.2%）、男性職員は66人（46.8%）です。

Q-3 新規採用職員の配属先は、どのように決まりますか。

A-3 一般事務職の新規採用職員は、採用試験申込書やエントリーシート、面接試験で聞き取った内容などを参考にしますが、市民の方と接する機会の多い窓口業務を行っている部署へ配属されることが多いです。専門職は、保有する資格等により関連する部署へ配属されます。

Q-4 採用後の配属部署の異動の周期や方法はどのように決まりますか。

A-4 人事異動は、概ね4～5年を基本とし、性質の異なる部署を組織運営に支障のない範囲で配置替えをしながら人材育成を図るための「ジョブローテーション」を実施しています。なお、異動先等の希望を把握するため、毎年12月に自己申告書を提出してもらい、人事配置等の参考にしています。